

氏名	金戸 幸子
職位	COE 研究員

研究概要

本 COE 研究員として 2009 年度に行った主な研究は、2009 年度次世代研究ユニットに採択された研究プロジェクト「変わる日本人の就労・ライフスタイルとトランスナショナル化する東アジア—1990 年代中期以降の日本から台湾・中国への人の移動を事例として」に関する研究である。本研究は、この約 20 年の間に顕著になってきた日本人のアジアへの人の移動、とりわけ中華圏を中心とする東アジアへの人の移動の事例から日本人の移住行動の変容を明らかにし、さらに、こうした新しいタイプの海外在住日本人の増加が、現地日本人コミュニティにもたらしている変化を考察したものである。

現代のアジア地域において日本人が増加した背景については、数少ない関連先行研究において、日系企業社会の拡大という側面が強調されてきた。しかし、たとえば台湾では、すでに 1990 年代半ばより、現地採用就労や留学、あるいは国際結婚など、日系企業の派遣駐在員やその家族に含まれるカテゴリー以外の身分や立場で現地に生活する日本人が増え、政府統計でもそれまで最も多かった日系企業の派遣駐在員として現地に在留する日本人のそれを上回るようになってきている。経済都市としての側面が強い香港など、これまで日系企業の派遣駐在員が圧倒的多数を占めてきた都市や地域においてもそうした傾向が見られるようになってきていることから、今日、日本からアジア地域への人の移動は、単に日系企業社会の拡大という次元を超えて、日本を含めたこれらの地域全体で職業や産業、階層構造などに生じている変化が重要な意味を持ち始めていることを示唆している。

今年度の調査研究から、明らかになった点は主に次の二点である。

第一に、これまで主に台湾で生活する日本人や日本人コミュニティについて調査を進めてきたなかで、移住日本人のシティズンシップ獲得をめぐるプロセスや戦略から、彼/彼女たちの移住行動が単に自分探しや「消費」といった次元にとどまらず、「リスク社会に対する自己防衛、生活防衛」という要素が大きく加わってきていることを見出してきた。その研究成果の一部については、2010 年 2 月 21 日に東京外国語大学で開催された国際シンポジウム「ゆらぐ境界、交わる人びと～『日本人』を再考する」において、『社会移民?』—台湾在住日本人のシティズンシップを超える複合的な戦略」と題するテーマで報告済みである。

第二に、このような現地在住日本人の属性や性質の変化、さらには境界を超える、あるいは境界を跨ぐよりよいライフスキルやシティズンシップ獲得をめぐる多義的な戦略は、「派遣駐在員」対「現地採用者」というように、これまで二項対立的に捉えられがちであった現地日本人コミュニティのありようをも変化させているものと思われる。実際、これまでの申請者による調査からも、そうした展開は、新しいタイプの日本人親睦組織の誕生や、日本人会に代表されるような既存の日本人組織の再編をも促していることが観察されている。

以上の問題意識とこれまでの研究経過を踏まえ、こうした新しいタイプの現地在住日本人の増加が現地日本人コミュニティにいかなる変化を与え、また現地社会とのかかわりをどのように変化させているのか、さらなる現地調査の実施や研究を進めていくことにより、考察を掘り下げていくことが今後の課題である。

業績リスト

《著書》

- 「現代台湾における多文化社会の展開と「新移民」問題」(永野武編著(日中社会学叢書第2巻 グローバリゼーションと東アジア社会の新構想『チャイニーズネスとトランスナショナル・アイデンティティ』明石書店、第8章)、全310ページ、2010年1月、247-293頁。

《査読付学術論文》

- 「台湾社会のグローバル化が台湾の労働と格差に与えた影響—外国人労働者および外国籍配偶者増加との関連を中心に—」(日中社会学会編『21世紀東アジア社会学』第2号)、2009年、136-156頁。
- 「日本人の越境するライフスタイルにみる現代日本をめぐる“もうひとつの”多文化化—台湾でキャリアの再構築をめざす日本人の国民国家を超える複合的な戦略から—」(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編『多言語・多文化—実践と研究』第2号)、2009年、139-166頁。

《報告》

- 「1990年代之後在台日本人的動態與變貌“Dynamism and Change in the Japanese Community in Taiwan since the 1990s”」(京都大学・国立台湾大学共催「東アジア社会学国際学術検討会」)、2009年7月24日、於：京都大学。
- 「1945年以降の八重山と台湾」(台湾史研究会 第13回現代台湾学術研究討論会ミニ・シンポジウム)、2009年9月5日、於：関西大学。
- 「境界とジェンダーの視点から問い直す東アジアの近代と女性の移動—八重山女性の植民地台湾への〈女中〉出稼ぎと職業移動の事例から—」(日本社会学会第82回大会テーマセッション「ライフコースと社会変動：アジアの20-21世紀再考」)、2009年10月12日、於：立教大学。
- 「『社会移民?』—台湾在住日本人のシティズンシップを超える複合的な戦略」(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター主催国際シンポジウム「ゆらぐ境界、交わる人びと〜『日本人』を再考する」)、2010年2月21日、於：東京外国語大学。